

# 錦江町 タウン マップ

KINKO-CHO TOWN MAP



## Oonejimedenshinkyokuatochi 大根占電信局跡地

明治29年に大浜に設置された大浜電信局が明治36年に、ここ錦江町に移転し明治43年まで電報中継通信を行っていました。日露戦争時の作戦命令信号など多くの重要な情報が大根占電信局発、受信でした。東郷平八郎長官の「皇国の興廃この一戦にあり。各員一層奮励努力せよ」の命令もここで受信しました。このため大勝利の一報も鹿児島市よりも3日早くちょうちん行列や爆竹をならして祝福していたそうです。当時の思い浮かべながら周辺探索してみるのも面白いかもしれません。

Pick UP Spot (A)



## Daikon yagura 大根やぐら

錦江町の冬の風物詩。宿利原地区では、漬物用に大根の天日干し作業が11月中旬から2月初旬まで続けられます。大根は錦江町から吹き上げる冷たく乾いた風を受け、大根やぐらで2週間ほどかけて乾燥させ、漬物用の大根として出荷されます。やぐらの大きさは高さ約7メートル、長さ約50メートルもあり、一面に干された大根は、白いカーテンのようにも見えます。毎年12月には大根やぐらをライトアップするイベントも開催され、幻想的な景色を味わうことができます。

鹿児島県肝属郡錦江町神川(宿利原地区)

Pick UP Spot (B)



## Matsukahoudaioto 松崎砲台跡

松崎海岸後方の砂丘地に薩英戦争に備えて建設された臨時の砲台跡。大砲3門が25メートル置きに設置されたと記されています。現地には凝灰岩の切石を3段積んでつくった、長さ13m、高さ1.3mの石積が残っており、これらは砲台の一部という可能性があります。対岸には、1844年に砲台が設置された指宿の名所・知林ヶ島を見ることができます。

鹿児島県肝属郡錦江町馬場 1130-2

Pick UP Spot (C)



## Ogawanotaki tenboujyo 雄川の滝展望所

錦江町田代川原にある雄川の滝展望所。滝口のすぐそばに設置されたデッキから落差46メートル幅60メートルの断崖とエメラルドグリーンの中を流す雄川を一望できます。なかなか見ることのできない滝口上部から見下ろす景色は圧巻です。駐車場完備。

鹿児島県肝属郡錦江町田代川原 1874-3

Pick UP Spot (E)



## 中心部 詳細MAP



## Hatayama shrine 旗山神社

町天然記念物に指定されている大楠と、3本の大イチョウが象徴的な旗山神社。名前の由来は島津義弘氏がこの山中の竹を戦いの旗竿として使ったことが始まりと言われている。朝鮮征伐及び琉球出陣の折も、この竹を用いたと言われている。ここ一番の勝負ごとの時にお参りするのにも良いかも。

鹿児島県肝属郡錦江町城元 5393  
0994-22-0517(錦江町教育委員会)

Pick UP Spot (D)



## Ochayateiato お茶亭跡

歴代の薩摩藩主がたびたび「花瀬出張い(はなせでばい)」と称して来遊し、お供の人達と景観を楽しみながらの宴席をもうけていた名勝地「花瀬」。お茶会で煮炊きに使用された炉の跡が、今も「お茶亭跡」として残されています。

鹿児島県肝属郡錦江町田代川原 4269-15

Pick UP Spot (F)



## Ougiotoshi no taki 扇落としの滝

花瀬バンガロー近くにある2段、3段と階段状に連続する迫力ある渓流瀑です。島津の殿様が雄大な滝の景観に驚いて手に持っている扇を落としてしまったことから「扇落としの滝」と名が付けられたといわれています。

鹿児島県肝属郡錦江町田代

Pick UP Spot (G)